

りべら (Libella) はラテン語でトンボの意味です。あおぞら財団はトンボが飛び交うまちの再生を願って活動しています。

2012.7

125

号

りべら

125号のりべらは、子どもたちが夏休みの課題として学んで取り組めるコーナーを企画しました。詳しくはあおぞら財団までお問い合わせください。
(TEL) 06-6475-8885



特集: セミでわかる!? 地域の環境…1

あおぞら財団「みどりの日」環境大臣表彰!…2

クルマと大気汚染対策イロイロ…3

しらべてみよう! 空気の汚れ…4

「おでかけマップ」と「防災まちづくり通信」が完成しました!…4

交通バリアフリーのために 大阪でタンデム自転車に乗りたい!…5

やってみよう! 廃油のリサイクル…6

さいてみよう! 西淀川記憶あつめ隊 荒井敏明さん…7

カマタ商店の“大人の何でも相談室”…8

岩手県遠野からの便り…8

忙中一筆 谷真介…8

あおぞら広場…10



温暖化や都市化の影響!?

(セミ博士見習) 今年もシャアシャア、セミのうるさい季節がやってきましたね。

(セミ博士) ないているのはクマゼミだよ。博士が子どものころは大阪でもクマゼミはめずらしく、子どもたちのあこがれだったんじゃない。いつのまにか増え、今では市内で見つかるセミの9割がクマゼミなんじゃ。

(見習) クマゼミは、大都会に



多いと聞きましたよ。

(博士) そうじゃ。クマゼミのぬけがらは、大阪では市街地の公園など

土がたく乾いている場所が多い。アブラゼミは神社の鎮守の森など、昔からの緑地に多いんじゃない。

(見習) アブラゼミの方が、自然豊かな場所にすむんですね。

(博士) 今、クマゼミのすむ範囲が北にうつっていることが、わかってきたんじゃない。以前は、神奈川県までとされていたのに、今は福島県でもなき声が確認されている。温暖化と関係があるのではと心配されているんじゃないよ。

(見習) 人間の活動でセミのすめる場所が、かわるのですね。

西淀川のセミたちは?

(博士) あおぞら財団では1999年から西淀川の大野川

緑陰道路で小学生とセミのぬけがら調べをしているんじゃない。

(見習) 何か変わったことはあったのですか?

(博士) 昨年は、アブラゼミのぬけがらの数が、場所によってちがうのかを調べるため、緑道内の場所でエリアごとに集めたんじゃない(左上図)。結果「エルモ西淀川前から43号線前(Dエリア)」が11個と最も多かったんじゃない。

(見習) へえ。木の大きさや種類にもよるのですかね。

(博士) そうじゃな。例えば、大阪市のとなり吹田市にある万博公園は、アブラゼミが7割を超すんじゃない。

(見習) 万博公園は、生態系を考えて森をつくったそうですね。樹木がつくる環境ですむセミの種類がかわるのですかね。

(博士) 緑道での調査では、9000個のぬけがらを集めた年でもアブラゼミが10個以上見つかることはなかったのに、近年では2009年が26個、2010年が51個と前より

※ 2009年結果クマゼミ1416個、アブラゼミ26個、2010年結果クマゼミ1974個、アブラゼミ51個、調査地点はC D



「あおぞら財団附属 西淀川・公害と環境資料館(エコミューズ)」で、セミの本を貸し出します。

多くみつかったんじゃない。*

(見習) 緑道のアブラゼミはふえているのでしょいか?

自然が豊かになっていると、この調査から言えればいいですね。

(博士) わからない。

だから、今後も調査が必要じゃよ。



クマゼミ



アブラゼミ

特集

写真提供: 大阪市自然史博物館

セミでわかる! 地域の環境



2011年大野川緑陰道路で セミのぬけがら調べ結果

調査期間:2011年8月19日～9月15日
参加者:のべ159人



2011年に大野川緑道であつめたぬけがら



大阪市内には、他にもツクツクボウシ、ニイニゼミ
がいますが、あおぞら財団の調査ではまだ見つかっ
ていません。



クマゼミ (3cm以上)
大阪の市街地でいち
ばん多い。乾燥したと
ころからでも、たくさ
んぬけがらがみつか
る。



アブラゼミ (2.5～3cm位)
森がしげって地面がし
めったところに多い。

写真提供:大阪市自然史博物館



今年もやるよ!
おのがわりよくいんどうろ
大野川緑陰道路で
セミのぬけがら調べ

と き:8月25日(土)
ところ:エルモ西淀川ホール
じかん:10:00～14:00

どんな結果になるかな?

『セミ人間セット』を貸します。
セミの気持ちになりたい人は、ぜひ。



参考資料:「都会にすむセミたち—温暖化の影響?」沼田英治・初宿成彦共著/海游舎(2007)
「おおさか身近な生き物調査」大阪府HP <http://www.pref.osaka.jp/midori/midori/ikimono.html>
「自然の森再生へのとりくみ」独立行政法人 日本万博博覧会機構HP <http://www.expo70.or.jp/forest/>
㈱ウェザーニューズHP 2011年度「全国セミ調査」結果発表 http://weathernews.com/ja/nc/press/2011/110831_1.html

祝

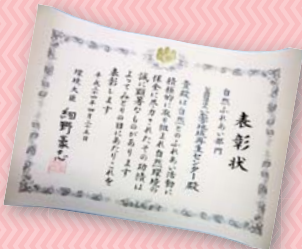
あおぞら財団
「みどりの日」
環境大臣表彰!



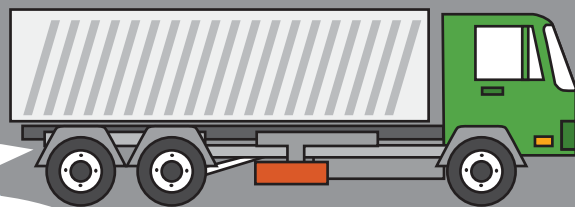
矢倉干潟定例探鳥会は今年で12年目(日本野鳥の会大阪と共催)。毎月第一土曜日開催。

あおぞら財団が、平成24年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を「自然ふれあい部門」で頂きました(4月25日)。市民参加の場を設け、生物調査などを長年続けてきたことが評価されました。一緒に活動をするみ

なさんを代表しての受賞と受け止めています。
自然が少ないと思われがちな西淀川区ですが、淀川、大阪湾、干潟、大野川緑陰道路など、変化に富んだ地形があります。公害が深刻な時期もありましたが、今ではハゼ釣りやシジミ採りを楽しんだり、年間約100種類もの野鳥を観察できます。
西淀川を好きになってほしい、誇りに思ってもらいたい、当財団では土地と人とを結ぶ場づくりをしてきました。今回「環境大臣表彰」という形で評価されたことを、とてもうれしく思っています。今後ともご支援よろしくお願いします。



クルマと大気汚染対策イロイロ



現在、大気汚染の原因は、自動車(特に大型トラック)からの排気ガスが主な原因となっています。これらを改善するには、(1)走行車両を減らす、(2)走行車両からの排気ガスを減らす、(3)走行方法を改善する、といった方法があります。阪神間の物流を担う国道43号においては、西淀川大気汚染裁判をはじめ、問題が指摘される中、様々な改善策が実施されています。

例えば、(1)走行車両を減らす
取り組みとして、阪神高速では、平成13年11月から5号湾岸線の貨物車などの料金を割り引く「環境ロードプライシング」が実施されています。

が実施されています。

す。これは、国道43

号・阪神高速3号

神戸線を利用する

大型車を5号湾岸

線に誘導すること

によって、大気環

境を改善しようと

いうものです。高

速道路料金につい

ては、平成24年1

月1日から、「料金



参考：阪神高速HP環境ロードプライシングより
http://www.hanshin-exp.co.jp/drivers/etc/etc_waribiki/etc_waribiki3.html



参考：大阪府HP流入車対策
<http://www.pref.osaka.jp/kotsukankyo/ryuunyuu/index.html>

圏別均一料金制度から、走った分だけ料金を支払う「距離料金」制度へと変わりましたが、環境ロードプライシング制度は維持されており、従来通り3割(割引率は利用区間によって変わります)の料金割引が行なわれています。

また、(2)走行車両からの排気ガスを減らす取り組みとしては、大阪府では、排出基準を満たさないトラック・バス等の対策地域37市町内への発着を禁止する流入車規制を実施しています(平成21年1月)。これにより、府内対策地域における自動車からの窒素酸化物排出量は、規制前に比べて規制後の平成21年度には約4分の3(14900トン)に減少しました。

が、阪神高速5号湾岸線への迂回やエコドライブの推進などを併せて促しています。これを機会に、身の回りでも、車両や道路の看板などをじっくり眺めてみると、いろんな工夫が見えてきます。ぜひ環境改善にご協力ください。

藤

参考：兵庫国道事務所HP 国道43号通行ルールより
<http://www.kkr.mlit.go.jp/hyogo/>



歩道寄りの車線は、沿道環境に配慮する車線【環境レーン】です。



くうき よご しらべてみよう! 空気の汚れ

空気の汚れの原因のひとつに「NO₂(二酸化ちっ素)」があります。
みんなでこのNO₂(二酸化ちっ素)をはかってみましょう。

永野千代子さん
(西淀川区出来島)



おばちゃんが、みんなのお母さんと同じ年だったころ、昼でも車が多いところ、西淀川の空気はよごれてしまったんや。それで
おばちゃんも病気になるってしまったんや。

きれいな空気をみんなに手渡すために、自分のまちを知ることは大事やと思ったから、あちこちで空気のよごれを調べたんやで。



1コ、250円
(送料別)

NO₂(二酸化ちっ素) しらべ方

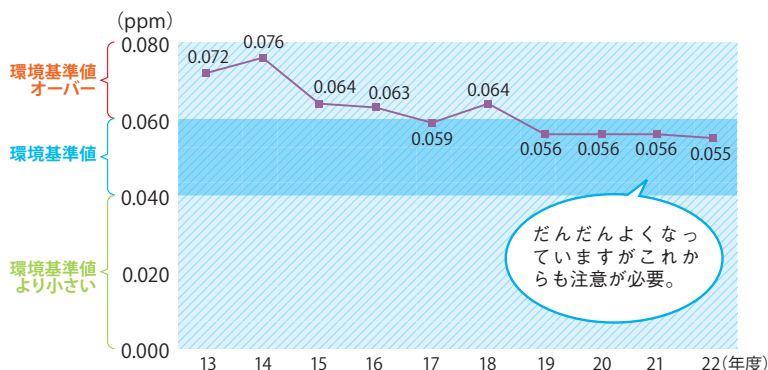
専用のカプセルを家の壁などに24時間はりつけます。
試薬をいれてはかります。



トラックが多い43号線。今後も注意が必要

43号線沿道の二酸化ちっ素濃度 日平均値(98%値)

(大阪市西淀川区/出来島小学校/自動車排出ガス測定局)



インターネットで国や自治体の測定局の結果もみられるよ。

*環境省大気汚染物質広域監視システム「そらまめ君」<http://soramame.taiki.go.jp/>

*国交省近畿地方整備局大気常時観測局「えんどうまめ君」<http://road.kkr.mlit.go.jp/kankyo/>

*大阪府大気汚染常時監視のページ <http://taiki-pbapsvr.kankyo.pref.osaka.jp/taikikanshi/index.html>

「おでかけマップ」と 「防災まちづくり通信」が 完成しました!

いずれも西淀川区内の様々な施設に置かせていただく予定です。読みたい方は
あおぞら財団までご連絡ください。

◆西淀川おでかけマップ【御幣島駅周辺】

JR東西線・御幣島駅周辺でのおでかけに役立つ、バリアフリーな店舗や施設を紹介しているマップです。とはいえ、「段差があるけれど、代わりに車いすの方には店員が介助しています」など、施設がバリアフリーになっていなくても店員・職員の方が対応してくれるお店や施設も掲載しました。

このマップがきっかけになって、車いすの方、視覚障害のある方をはじめ誰もが楽しくおでかけできるようになって、バリアフリー化がすすむことを願っています。



◆にしよどがわ防災まちづくり通信【Vol.1】

東南海・南海地震など、災害が起こったときには、市民一人一人の力が大事ですが、まずは普段から自分の身の回りの防災に対する意識を持つことが大切です。
防災まちづくり通信では、西淀川の人々の災害に対する思い、西淀川区内の先進的な取り組みなどを紹介していきます。この通信を、日頃から自分の身の回りの防災について考える際の手がかりにしていいただければ幸いです。

谷

*発行: 西淀川交通まちづくりプロジェクト ブログ <http://aozora.or.jp/archives/category/chiiki/kotumachi>



2012年3月18日大阪サイクルイベントに
12台で参加しました



大阪でタンデム自転車を楽しむ会会員募集中!

会の活動を支援してくれる会員やボランティアを募集しています。活動に興味のある方は事務局のあおぞら財団までご連絡ください!



タンデム
自転車に
乗って
みよう!

あおぞら財団ではタンデム自転車を
貸し出しています。1日500円です。



大野川緑陰道路での体験会の様子

あおぞら財団では環境にやさしい乗り物である自転車を活かしたまちづくりの活動をしています。活動を進めていく中で、視覚障害者の方との出会いがあり、交通のバリアフリーに関する協働の取り組みの一環として、タンデム自転車の普及を進めています。2012年4月に正式に「大阪でタンデム自転車を楽しむ会」ができました。

交通のバリアフリーのために 大阪でタンデム自転車に乗りたい!

私は、タンデム自転車に乗っている、「目が見えない自分にも自転車に乗れる」ことを実感し、風を切って走る爽快感を取り戻すことができず。そのお手伝いをしていただく人が、前に乗って自転車を操作してくれるパイロットです。

このタンデム自転車はノーマライゼーション※1を具体化した姿でもあり、障害者差別禁止法の大きな柱「合理的配慮を示したものです。今後の活動は、日本全国各県でタンデムを楽しむ会のような組織が誕生してほしいことと、組織同士で連携し、全国でタンデム「後輪1輪」が走行可能になり、タンデム自転車で日本縦断リレーの開催を実現したいと望んでいます。※2まずは、大阪府で公道走行を可能にしていた

24歳で失明し、日本ライトハウスでの訓練のプログラムで、タンデム自転車を初めて乗りました。それからの体験は、3年程前の兵庫県笹舟クラブでの体験以来になります。

鈴木昭二(全盲)

大阪でタンデム自転車を楽しむ会会長



後ろに乗るのが
鈴木さん

私とタンデム自転車 「目が見えなくても 自転車に乗れる」

鈴木さんHP <http://www17.ocn.ne.jp/~bell5252/index.htm>

※1 1960年代に北欧諸国から始まった社会福祉をめぐる社会理念の一つ。障害者と健常者とは、お互いが特別に区別されることなく、社会生活を共にするのが正常なことであり、本来の望ましい姿であるとする考え方。

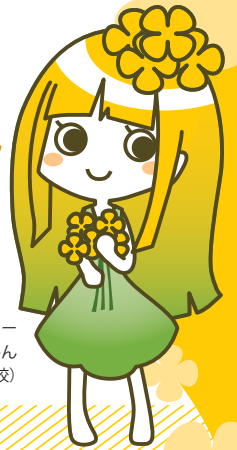
※2 現在、山形、長野、兵庫、広島、愛媛の5県ではタンデム自転車(後輪1輪タイプ含む)の公道走行が認められています。



やってみよう

はいしょくゆ

廃食油のリサイクル



みなさんの家では、あげ物をした後の油はどうしていますか。捨てればゴミに、流せば川の水を汚す原因になりますが、集めてリサイクルすることでrippa「資源」になります。

西淀川区内の学校や町会などで廃食油回収がひろがっています。

西淀川菜の花プロジェクトキャラクター
なの子ちゃん
絵: 前田萌美 (当時西淀川高校)

資源がまわる
地域でまわる

菜の花プロジェクト



西淀川高校の菜の花畑

- ① 菜の花を育て、天ぷら油をつくる
- ② 使った後の天ぷら油を集める
- ③ 廃食油をリサイクルして使う



廃食油を燃料にして走るキャンピングカー「イイから号」で旅をする伊藤さん。神奈川から西日本をまわっています。何度か西淀川の廃油でも給油しています。



もっていこう

このほりがたてある家や学校などで、廃食油回収をしています。51か所で回収しています。2011年度は全部で3,986ℓの廃油が集まりました。ポリタンク221個分です。

ボランティアで回収しています
佃連合振興町会環境衛生部
津田さん 阿南さん



つかってみよう

廃油をリサイクルした西淀川オリジナルの『エコ・ハンドソープ』。ボトルの絵は佃中学校生徒の作品です。区内の公共施設などで使われています。500円で販売しています。つめかえ用もあります。



つくってみよう

廃油をリサイクルしてキャンドルが簡単につくれます。
天ぷらをした後の熱い廃油に、廃油処理剤(固める薬、市販)を入れます。液を空きびんなどの容器に入れ、かたまったら麻ヒモなどで芯をさせば、できあがり。



この活動に参加するみなさんのおかげで、私たちリサイクル事業者ではできない、家から出る廃油の回収の仕組みづくりと、廃油のリサイクルを多くの人に伝えることができています。ありがとうございます。

浜田化学株式会社 代表取締役 岡野嘉市さん(大阪市立佃中学校出身)

菜の花プロジェクトブログ <http://nanohanany.blogspot.jp/>

西淀川記憶あつめ隊

Vol.2

西淀川には工場が多いですね。どういう職人が住んでいたのでしょうか。今回は鉛工だった荒井さんのお話です。

2011年6月17日
聞き取り



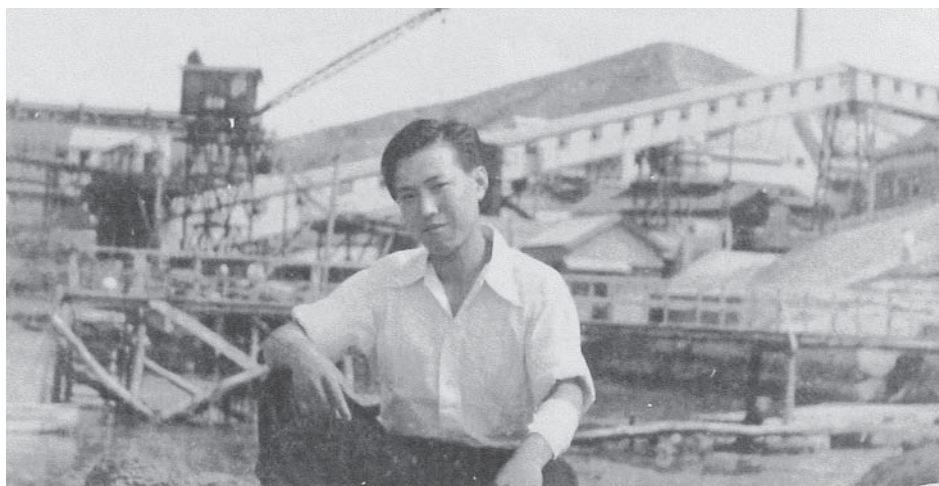
荒井 敏明さん
としあき

◆直島で特殊技術を学ぶ

荒井敏明さんは香川県高松市の生まれ、大和田在住の82歳です。1945年4月に朝鮮の京城(現:ソウル)に渡ります。朝鮮総督府鉄道局鉄道従事員教習所に入るためです。一緒に暮らしていた祖母に京城に行くことを反対されたそうですが、「どうせ兵隊にとられるなら」

◆鉛工職人として西淀川へ

という決意をもって15歳の若さで京城に向かいました。しかし、8月の敗戦で帰国を余儀なくされ、11月には引き上げられます。帰国すると自宅が空襲で焼けてなくなっていました。その後、家のブリキ屋の仕事を手伝いましたが、1946年には直島に渡って三菱鉱業(現:三菱マテリアル)の精錬所に入ります。荒井さんは精錬所の学校で鉛工の技術を学びました。給料は良く、1950年には300円をもって大阪に遊びに来たこともあったそうです。その時の宿泊料は50円だったと荒井さんは覚えていました。



直島の三菱精錬所にて。荒井さん18歳のころ

1953年に三菱をやめて、西淀川にやってきました。三菱の先輩に「おまえは特殊工やからこっちでも仕事があるで」といつて呼ばれたそうです。個3丁目にあった木村鉛工に勤め

本の高度経済成長を支えた職人の誇りを感じました。荒井さんは鉛だけでなく樹脂の加工も行ったそうです。「世間の要望やからなあ」と軽いいますが、両方の加工を行う職人は珍

しく、柔軟に器用にこなしたことに感服しました。

◆第二室戸台風の思い出

1961年9月に第2室戸台風が西淀川に上陸しますが、荒井さんはその3か月前に大和田に移り住みました。第2室戸台風のときは、ちょうど古河鉱業にいたそうで、大野川に黒い水が流れてきて、海から水がくる事が分かったそうです。「1階部分は水没したけど、文化住宅の2階に住んでたから助かったわ」と笑います。

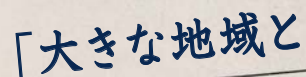
1960年代には公害のことはあまり聞いてなかったそうですが、気管支喘息になり仕事に支障が生じるようになりました。当時は「職業病かな」と思っていたそうです。

「西淀川には職人がようけいたんやで」と語る荒井さんの姿を見て、当時の街の活気が見えたようなヒアリングでした。

●林



A photograph showing a wide, flat, and desolate landscape, possibly a former battlefield or a heavily damaged area. In the background, there are rolling hills or mountains under a clear sky. The foreground is a vast, open plain with some sparse vegetation and what appears to be a road or path winding through it. The overall tone is somber and historical.



NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク事務局
田村 隆雅

当法人は、被災地で起きていることを「大きい」「こころ」として受け止め、被災地との距離が少しあるため、客観的に被災地の状況を見ることが出来る。その2つが混在できる地域だから復興後方支援の拠点としての機能を遠野市が持っているともいえる。「震災の記憶の風化」が言われている状況の中で、今後も、多くの絆によって多くの人が協働できる地域を目指したい。そして、「あおぞら」のように澄んだ明るい未来づくりに寄与できるように活動をしていきたい。

第4回
テーマ

カマタヤスヒコ



おひげ

本ページ2つの連載は今回が最終回です。ご愛読ありがとうございました。

忙中 一筆

泉南アスベスト国賠訴訟

前回の判決 逆転 再び国の責任が認められる

あおぞら財団とつながりがある人からエッセイを寄せてもらっています。
大阪じん肺アスベスト弁護団の谷弁護士です。



谷 真介(たに しんすけ)

弁護士5年目。小学生のころ、母に連れられ西淀川大気汚染裁判の被害聴取や法廷傍聴に訪れた経験から、公害訴訟に取り組みたいと考えるようになる。本件の弁護団の他、各種労働事件の弁護団、内閣官房機密費情報公開弁護団、岸和田生活保護裁判弁護団など。

産業発展のために生命を犠牲にすることは許されない

本年1月号で泉南アスベスト国賠第1陣訴訟(被害者26名)

の大阪高裁不当判決について報告しましたが、本年3月28日、第2陣訴訟(被害者33名)について、大阪地裁で判決があり、7か月前に出された大阪高裁の不当判決を見事に乗り越え、再び泉南地域のアスベスト被害について国の責任を認め、勝訴しました。

高裁判決が、経済発展のためには石綿(アスベスト)により人の生命、健康に被害が生じるなど一定の弊害はやむを得ないとした点について、今回の判決は、経済的発展を優

先すべきであるという理由で労働者の健康を蔑ろにすることは許されない、労働災害の防止のための費用を要するのが当然でそれが局所排気装置の設置を義務づけない理由にはならないと述べ、産業発展や事業主のコスト負担増を理由に労働者の生命健康を犠牲にすることは許されないと断じました。

また高裁判決が、被害発生が防止できなかったのは新聞報道等でアスベストの危険性を知り自己で身を守らなければならぬ被害者が防じんマスクの着用を徹底しなかったからだとして、今回の判決は、

たものであり、まさに司法の良心に従ったものとして、大きく評価できます。
被害者が生きているうちに解決を！早期解決望む
判決後、原告らは再び国の責任を認められたことを踏まえ、国に早期解決へのテーブルにつくよう迫りました。しかし国は、「先行訴訟と同一の対応をとることが必要」として、早々に控訴しました。すでに被害者の約半数が亡くなり、生存原告も日々、高齢化と病気の重篤化に苦しんでいます。1陣最高裁、2陣高裁と闘いは続きますが、「生きていくうちの全面解決」を求める今後の闘いに、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



判決を待つ人々の前に「勝訴」ののぼりを掲げる弁護団(3月28日 大阪地裁前)

また高裁判決が、被害発生が防止できなかったのは新聞報道等でアスベストの危険性を知り自己で身を守らなければならぬ被害者が防じんマスクの着用を徹底しなかったからだと責任を被害者に押しつけた点について、今回の判決は、

防じんマスクは粉じん対策としては補助的手段にすぎず、粉じん飛散防止措置を講じなければ石綿はく露は防げなかったとして、国の責任を認めました。

一方、今回の判決は、昭和46年に局所排気装置を義務づけるなどした特化則を制定した以降の違法性を否定した点、国の責任を事業者の責任の3分の1に限定した点など、問題点もあります。しかし、わずか7か月前に出された国民の生命健康を軽視し自己責任の論理で貫かれた不当な高裁を克服し、生命健康を至上の価値とする憲法と労働現場の実態を踏まえて正し、国の責任を再び認め

たものであり、まさに司法の良心に従ったものとして、大きく評価できます。
被害者が生きているうちに解決を！早期解決望む
判決後、原告らは再び国の責任を認められたことを踏まえ、国に早期解決へのテーブルにつくよう迫りました。しかし国は、「先行訴訟と同一の対応をとることが必要」として、早々に控訴しました。すでに被害者の約半数が亡くなり、生存原告も日々、高齢化と病気の重篤化に苦しんでいます。1陣最高裁、2陣高裁と闘いは続きますが、「生きていくうちの全面解決」を求める今後の闘いに、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



ありがとうございます

(2012年2月～2012年4月 敬称略・順不同)

●入会

小川 和利

●お助けボランティア

浅井 真二
大野 みさ子
岡崎 久女
蒲原 ヨシ子
小坂 茂樹
左成 志朗
藤川 航太朗

シーズ・市民活動を支える制度をつくる会

大阪経済大学

澤井 余志郎

牧 洋子

是枝 洋

日本科学者会議大阪支部

佐賀 朝

浅井 真二

山本 康子

奥村 昌裕

蔵本 幸治

有限会社ケース

田中 佳世

植田 和弘

柏原 誠

間口ワールドトランス株式会社

●寄附・寄贈者

松岡 弘之
尼崎道路公害訴訟弁護団
長瀬 文雄
川合 千代子
友澤 悠季
井上 有一



西淀川菜の花プロジェクト

～エコでつながる西淀川～



大阪府立西淀川高校等の教育関係施設や佃連合振興町会等、地域での廃油の回収をすすめています。



読者の声募集

会員のみなさまの日ごろの活動や、アピールしたい事、またはあおぞら財団へのご意見や、りべらのご感想、あふれる西淀川愛など、多種多彩な原稿を寄せていただければと思います。文字数は200字です。原稿は、表題を「会員コーナー投稿」としてE-mail (webmaster@aozora.or.jp) またはFAX (06-6478-5885) でお送りください。皆さまのご参加をお待ちしております。



No.125 2012年7月号 (季刊1日、年4回発行)

発行所:公益財団法人公害地域再生センター (あおぞら財団)

編集人:小平 智子、鎗山 善理子

〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階

TEL 06-6475-8885 FAX 06-6478-5885

http://aozora.or.jp/ webmaster@aozora.or.jp

デザイン:(株)バード・デザイン・ハウス

定価:一部400円(郵送料込)

会員の購読料は会費に含まれています。

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

あおぞら財団
Facebookページ
「いいね!」を
押してくださいね。



交流の場 会員のつどい開催

6月10日(日)、「あおぞら財団会員のつどい

2012～あおぞら活動総選挙～」をあおぞらビル



3階にて開催し、25名(スタッフ含む)が参加しました。

「総選挙」は、事務局がアピールしたい10の活動を発表。その後、参加者1名につき3票を、応援したいと思った活動に、理由などを書いて投票しました。

上位3活動は、会場で意見を出

し合いながら賞の名前を決め表彰しました。

第1位 廃油回収『みんなでやります賞』

地域の方をしっかりと巻き込んでいる地域密着性、廃油回収というわかりやすさが票を集めました。

第2位 公害地域の今を伝えるスタディツアー

『ビフォア・アフター賞』

「西淀川公害は財団活動の原点」「教科書では学べない日本の歴史」という意見を頂きました。

第3位 タンデム自転車交流会『ノーマライゼーション賞』

「車社会やバリアフリーを考えるきっかけになる」「楽しそう!」という意見が多かったです。

今回、会員のつどいを「活動総選挙」にすることで、選挙を通じた意見交換では各事業の良い点や課題を共有することができました。

また私個人としても、財団の様々な活動を知ることができた良い機会でした。

懇親会も、いろんな立場の方と交流ができました。今回の総選挙をきっかけに一人でも多くの方に「他の活動に参加してみたい!」と感じてもらえたなら嬉しいです。財団はいつでも参加をお待ちしています。

財団インターン 平田里香



入賞した3つの活動の協力者のみなさん



スタッフツィッター 編集後記



今年の財団会員のつどいは「活動総選挙」。某アイドルのように何万人動員とはいきませんが、熱い思いの参加者が集まりました。時には異なる意見も出ましたが、西淀川を良くしたいという思いは同じ。だれもが前向きに活動できる場づくりが、財団の目指すところと再確認した次第です。



「ふたりの恋はま〜る〜で〜、積み重ねたハーモニー♪」って、表紙写真を見るたびに、頭にサビがまわるんです。矢野顕子&宮沢和史『二人のハーモニー』。以前、CMで流れてましたよね。コーヒーの香り、ただよってきそー。

